

The ECOLAB logo features the brand name in a bold, sans-serif font. The letter 'O' is replaced by a stylized circular icon containing a four-pointed star or compass rose design.

2018 年度サステナビリティレポート

意義ある 変化を 推進



世界は大きな岐路に差しかかっています。**私たちは**、気候変動、水不足、食の安全、公衆衛生などの課題に対する世界的な危機感の高まりを目の当たりにしています。しかしまた、これらの**課題に対処**するために、これまでにない手段も自由に利用できます。

デジタルテクノロジーによって、これまでは得られなかった洞察がもたらされ、**同時に**、スマートで持続可能なソリューションへの需要が拡大しています。改善の気運が高まるにつれ、エコラボがお客さまの改善を促進する能力も高まります。当社は多様な業界の企業が、清潔な水、安全な食品、豊富なエネルギー、健康的な環境を持続的に**提供**できるように支援しています。

今こそ変化を起こすときです。力を合わせて、世界が必要とする方向に**進化**を進めましょう。

価値を。実現する。

価値創造は、あらゆるビジネスにとって主要な目的です。エコラボでは、水やエネルギー使用量または温室効果ガス排出量の低減など、オペレーション効率、品質、安全性、サステナビリティのメリットについて成果を実現します。**その成果を証明するのが eROI です。**

eROI は、指数関数的な投資収益率を意味します。これにより、お客さまは、最終的利益はもちろん、生産性とパフォーマンスの向上、運用コストの削減、効率性の改善の進捗状況を追跡できるとともに、サステナビリティの目標を達成し、世界にプラスのインパクトをもたらすことができます。

本レポートで取り上げている実際のケーススタディでは、エコラボが技術、洞察、サービス、トレーニングを通じてこのような成果を実現する方法を紹介します。**今日実現された価値に基づいて、より良い明日をさらに推進することができます。**



エコラボは、国連の持続可能な開発目標、特に目標 6 である、すべての人々に水と衛生へのアクセスと持続可能な管理の確保に向けて、パートナーシップとプログラムに取り組んでいます。(この取り組みの詳細については 22 ページをご覧ください。)

目次

| | |
|-------------------------|-----------|
| CEO からのあいさつ | 2 |
| 数字でみるエコラボ | 3 |
| 当社がもたらしたインパクト | 4 |
| カスタマーインパクトの促進 | 6 |
| ケーススタディ | 8 |
| スチュワードシップを通じた影響力 | 20 |
| ウォータースチュワードシップ | 22 |
| コミュニティリレーション | 24 |
| リーダーシップ | 26 |
| 目標とパフォーマンス | 28 |
| イノベーション | 30 |
| サプライチェーン | 32 |
| 安全第一 | 34 |
| 受賞・表彰 | 36 |
| 本要約版について | 37 |

説得力のあるサステナビリティのビジネスケースがあれば、必ず良い結果が得られます。

当社のビジネスにさまざまな面で成長の兆しが表れています。水やエネルギーの節約、廃棄物や温室効果ガス排出の削減など、これらの優先事項が、ビジネスの成長および収益性と密接に関連していることがますます認識されるようになってきました。

私たちは、全員が一丸となって、この機会を最大限に利用しなければなりません。今この機会を手中に収めることができれば、地球にこれ以上害を与えずに、あらゆる存在にとって持続可能な成長を実現する経済を作り上げることができるのです。

エコラボでは、このようなポジティブな発展を促進するお手伝いをしています。当社の専門技術により、世界のマクロトレンドの岐路に立っています。お客さまが人口増加、経済成長、都市化、消費者動向の変化、気候変動、水不足などの需要に対応するためのサポートを、当社は世界中で提供しています。

水やエネルギーの効率性がより高い食器洗浄機プログラムを人々のお気に入りのレストランへ提供するところから、製鋼所、自動車メー

カー、発電所における水使用量の削減まで、当社は大小さまざまな規模でサポートしています。それぞれのケースで、お客さまの業務効率を改善し、コストを削減する一方で、環境への影響を低減し、エネルギーと天然資源を節約できるようサポートしています。

当社は 2018 年に、お客さまへの協力を通じて、世界中で合計 1,880 億ガロンの水を節約しました。これは 6 億 5,000 万人が 1 年間に必要とする飲料水に相当します。現在当社では、10 億人分の飲料水に相当する 3000 億ガロンの節約を 2030 年の目標としています。また当社の支援により、お客さまは 19 兆 BTU のエネルギーを節減し、24 億ポンドの温室効果ガスの排出を回避す

るとともに、廃棄物を 5,400 万ポンド削減することができました。

当社がこのような成功を収めることができた背景には、サービス、専門技術、知見、そして技術革新の組み合わせがあります。コネクテッドデジタル技術とデータサイエンスの利用により、わずか数年前まで不可能であったことが実現しています。たとえば、現在当社ではネットワークに接続された 40,000 台の 3D TRASAR™ スマートウォーターセンサーを世界中の多くの業種に設置しています。このネットワークを使うことで、以前は把握できなかった傾向を見つけ出し、問題が発生する前に対応することができるのです。またお客さまは環境の変化にリアルタイムで対応し、効率性を

大幅に高めて、環境への影響を最小限に抑えることができます。

当社の業務の本質は、お客さまのサステナビリティに関する目標の達成をお手伝いするところにあります。当社の業務は全体として、国連の持続可能な開発目標 6 である、すべての人々への清潔な水と衛生的な環境の確保へと世界を導くものです。

その一方、当社では自社業務においても着実にサステナビリティを改善しています。全世界の当社工場における水の利用量削減、再利用とリサイクルのために体系的に投資を行っています。このような投資は着実に効果を上げ、2020 年までに温室効果ガス排出を 10%削減するという目標の達成まであと一歩に迫っています。2018 年に締結した再生可能電力契約により、その目標を大幅に超える見込みです。

同時に、当社は過去 5 年間でプラスチックの埋め立てゴミを 7,100 万ポンド以上削減しました。未使用樹脂ではなくリサイクルされたプラスチックを利用し、当社製品をより効率的に設計する方法について常に検討することで、この削減を実現しています。たと



ば、大型容器に入ったかさばる液体ではなく、収縮包装フィルムに濃縮固形の化学品を使うことにより、包装に必要なプラスチックを 99% 削減することができました。

エコラボの事業、そしてその先に見えるものを考えれば、私たちは力を合わせてサステナブルな道を進んでいくことができるだろうと私は楽観的に考えています。当社が革新を続けていくにあたり、必要な技術の大半はすでに入手しています。次はワンランク上の努力をすることで、当社のプラス効果を広めていくときです。

ビジネスリーダーとして、当社には果たすべき特別な役割があります。当社だけで世界を良くすることはできませんが、当社は世界全体が変化を進めるうえで重要な存在です。当社が壮大で野心的な目標を設定すべきだと考えるのはそのためです。変化は常に困難を伴います。したがって努力に見合う成果を確保することがベストです。「Go big (思い切った行動を取ろう)」が私たちの合言葉であるのはそのためです。有意義な変化。それこそがエコラボが促進しているものです。

ありがとうございました。

Douglas M. Baker, Jr.
会長兼 CEO

フットプリント

170 カ国以上
300 万カ所
におよぶ
顧客の施設

歴史

96 年間
成長と革新の歴史

人材

49,000 名
の従業員
27,000 名のサー
ルス・サービス担
当者

研究開発

19 グローバル
研究開発センター

イノベーション

9,400 件
以上の特許
1,600 名
の研究、開発、
エンジニアリング
の専門家

スチュワードシップ

1,700 万ド
ルを寄付
2018 年 1 年間
でエコラボ基金、
企業およびボラ
ンティア活動を
通じて

2018 年に当社が支援した お客さまの成果：

清潔な水



1,880 億ガロン以上の水を保全

1 兆 1,000 億ガロンの水を管理

6 億 5,000 万人分の飲料水を保全

さらに ...

2030 年までに 3,000 億ガロンの水を節減できるようにお客さまをサポート

安全な食品



世界の加工食品の 25% 以上を安全に生産

世界の牛乳供給量の 44% を安全に生産

衛生的なキッチンのサポートにより、450 億食の食事をレストランで提供

さらに ...

年間 100 万件以上の食中毒を防止できるようにお客さまをサポート

豊富なエネルギー



19 兆 BTU 以上のエネルギーを節約

世界の石油生産において 40% の水とエネルギーフットプリントを削減

世界の電力の 20% 以上を発電

24 億ポンドの温室効果ガス排出を回避

さらに ...

CO₂e（二酸化炭素排出相当量）をエコラボの事業運営において 2020 年までに 10% 削減することを目標に取り組み、その目標を超える成果を達成する見込み

健康的な環境



400 億以上の手を洗淨

宿泊客が快適に滞在できるようにホテルで 8 億室以上の清潔な客室を提供

600 万の病室を清掃

ホテルのリネン類 1.1 億回分以上を洗濯

さらに ...

年間 10,000 人の人々のヘルスケア関係感染のリスクを低減できるように、ヘルスケア施設をサポート



カスタマー インパクト の促進

エコラボは、170 カ国以上 300 万拠点で企業パートナーを支援しています。

写真：イリノイ州ジケーターにある ADM のプラントで協議する ADM 排水処理プラント技術者の Paula Gallup 氏（左）とエコラボのコルポレートアカウント担当バイスプレジデント Tony Bleull。



1

ビジネスの成功を導くサステナビリティ目標

エコラボの最大のインパクトは、当社のお客さまへの支援を通じてもたらされます。限りある天然資源への依存を低減しながら、顧客企業の業績向上につながるよう支援することで、お客さまのコストを削減し、その成長に貢献します。デジタルテクノロジー、コネクテッドケミストリー、その他の革新的なソリューションを通じて、当社は経済面と環境面のメリットをもたらし、それらのメリットが企業の効率性、生産性、サステナビリティをさらに高めます。

世界的な歯磨き粉メーカーの 節水と生産性向上を 技術でサポート



コルゲート・パーモリーブ社にとって、洗浄と除菌プロセスの改善は、
効率とサステナビリティの向上につながりました。

サステナビリティの文化が深く根付いているコルゲート・パーモリーブ社は、水やエネルギーの節約とグローバルな事業運営の効率改善に努めています。水が不足するメキシコにあるミッションヒルズ工場は、同社がその原則を実践している典型的な例と言えるでしょう。

インサイト

コルゲート・パーモリーブ社には、長期にわたる真摯なサステナビリティに関する取り組みの歴史があります。口腔ケア、家庭用品、パーソナルケア製品、ペットフードのグローバル企業である同社では、2020年までに2002年を基準値として、製造工程における用水原単位を2分の1削減、エネルギー原単位を3分の1削減、温室効果ガス排出絶対量を25%削減することを目標としています。

メキシコのグアナフアトにある同社のミッションヒルズ工場は、世界最大規模の歯磨き粉工場です。この工場では、デオドラントや食器洗い洗剤、固形せっけんも製造しています。サステナビリティの文化が深く根付いているミッションヒルズ工場では、あらゆる手段を使って水を節約しています。処理した排水を工場の設備や造園で使えるようリサイクルするのは、排水排出ゼロ用地です。エコラボと協働するまで、工場のクリーニングやサニテーションは、人の手で温水のみを使って行うプロセスであったため、時間がかかるうえに大量の水やエネルギーを必要としていました。

イノベーション

同工場ではエコラボの支援を得て、クリーニングと除菌処理における効率とサステナビリティを改善しました。エコラボは、ミッションヒルズの8つの製造ラインに新しいソリューションを提供しました。そのうちのひとつ、エコラボの洗浄剤は生産設備から頑固にこびりついたさまざまな処理残留物を除去します。他にも、エコラボの除菌剤は1ステップで除菌が可能で、最終工程の水によるすすぎを省略できる可能性があります。

これらを併用して、次の成果が得られました。

- クリーニングにかかる時間を大幅に短縮
- 手作業による洗浄を廃止
- クリーニングの信頼性と製品の品質保証を改善
- 時間、水、エネルギー使用量の大幅な節減
- CO₂ 排出量の削減



ソリューション

Risil Mat™ 洗浄剤

Oxonia Active™ 除菌剤



ADM での 23 億ガロンの 節水に貢献



ADM とエコラボのパートナーシップが、世界中の拠点で何十億ガロンも
の水と数百万ドルの節約に役立ちました。

アーチャー・ダニエルズ・ミッドランド・カンパニー (ADM) は世界的な食料供給において重要な役割を担っており、環境への責任をそのコアバリューとしています。エコラボとのパートナーシップを通じて、ADM は水やエネルギーなどの天然資源の利用を節減しつつコストを削減しました。

インサイト

食品および農業の世界的大手である ADM は、世界規模の数多くの重大な課題について決断を迫られていました。世界の人口は増加し、人々の経済力が向上しつつあります。経済力の高まりとともに食事が変化し、地方から都市へと人口が急速に移動します。その結果、食品や水、そしてエネルギーの需要が拡大し、変化しています。

ADM は世界的な食糧供給において重要な役割を担っており、環境への責任をそのコアバリューとしています。同社は、国連の「持続可能な開発目標」に沿って以下の目標を設定しました。

- 2018 年までに水使用原単位を 15% 削減²
- 2020 年までにエネルギー原単位を 15% 削減³
- 2020 年までに温室効果ガス排出原単位を 15 パーセント削減³

イノベーション

ADM はエコラボと協働し、同社の全世界におけるオペレーションで水資源管理の改善を推進する持続可能なプロセスを開発しました。両社の強みを活かして、ADM は 2012 年以来、全世界で業務実績を高めつつ、エネルギーと水の利用を低減するエコラボのプロジェクトを 212 件実施しました。

エコラボが行った技術と自動化によるベストプラクティスは、これらのプロジェクトで成功を収めるうえで特に重要でした。その一例が、世界中に 160 台設置されている冷却水用 3D TRASARTM テクノロジーの設備。3D TRASAR は、冷却システムをリアルタイムで監視、管理して水の利用を最適化します。ADM ではこの技術を、自社工場での水使用量の削減、再利用、リサイクル、さらに自社工程での中水（リサイクルされた水）の使用に役立て、地域レベルで水のレジリエンス強化に努めています。

エコラボとのパートナーシップの結果、ADM は天然資源の利用量を節減しつつ、それまで以上に効率的な操業を実現しました。これにより操業コストが大幅に削減され、サステナビリティの目標を達成できました。



ソリューション

3D TRASARTM 冷却水テクノロジー

現場の専門知識とシステム保証センターによる継続的な監視



ブラジルの企業で有機的方法による害虫駆除に成功



インサイト

ブラジルの世界的食品メーカーが、新たなスナック類のオーガニック認証を取得したいと考えていました。エコラボの害虫駆除部門は同企業と長年にわたって取引があり、週3回殺虫剤を使用していました。オーガニックのスナックを製造するには、工程を調整してオーガニック認証の要件を満たすソリューションを探する必要がありました。

既存の害虫駆除の工程では、殺虫剤の使用後に溶液中の水分が蒸発するまで生産を12時間停止して、徹底したクリーニングを行う必要がありました。同社は、これを製品にとどまらず、自社のオペレーション効率および利益率をも向上させるチャンスととらえたのです。新たなソリューションはこれら3つのことをすべて達成し、利益率は30%向上しました。

イノベーション

エコラボ害虫駆除部門の現場のサービス担当者は、工場を視察して構造的な改善と衛生に関する解決策を提案しました。

この施設においてエコラボは以下を実施しました。

- ・ 査察の回数を増やすとともに、フェロモンを使った床設置タイプの粘着シートトラップの数を増加しました。これにより、工場内に侵入した害虫を速やかに特定して捕獲できるようになりました。

- ・ オーガニック製品への切り替え。ニームの種から抽出されるニームオイルや、化石化した藻類に似た小型植物から作られる微粒粉末の珪藻土といった天然の材料を使用するようにしました。

エコラボはグローバルの大型バエ防除プログラムも導入しました。これは屋外で防除する画期的なアプローチを採用した方法で、大型バエの活動の根本原因を究明してハエが内部に侵入する前に解決し、大型バエに関連する食品衛生リスクを低減します。カギとなるのは、ハエが施設内に侵入する前に防除できる反射型装置 Stealth™ Fly Station です。

この顧客企業は、新たな製品ラインに対してオーガニック認証を取得しました。さらに、殺虫剤の塗布後に休止期間を設ける必要がなくなったため、同施設では生産時間が1カ月当たり1日分（24時間）増加し、生産性が3.3%向上しました。

ソリューション

グローバル大型バエ防除プログラムおよび装置（殺虫剤なし）

フェロモントラップと貯蔵品の害虫防除プログラム

現場の専門知識と個人に依じた顧客トレーニング

年間節減量



水

クリーニング1回当たりの水使用量を

5% 削減



エネルギー

クリーニング1回当たりのエネルギー使用量を

5% 削減



安全

新しい害虫駆除の工程によって、
従業員の安全性が向上

残留殺虫剤のリスクが解消



生産性

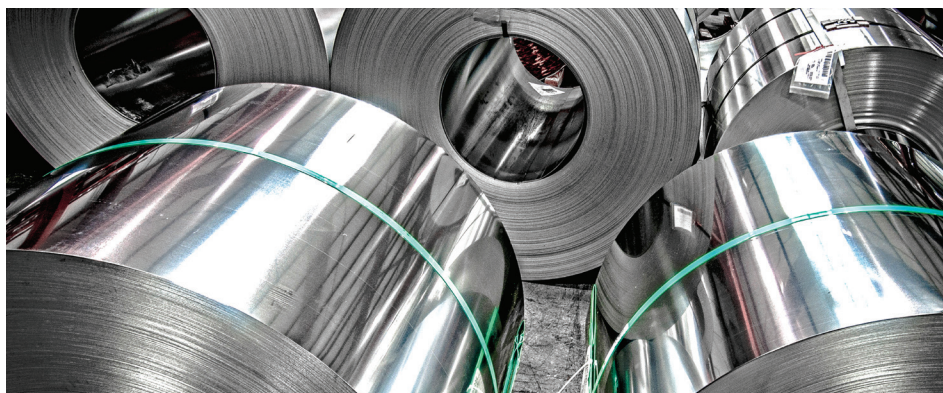
殺虫剤の塗布後に**休止期間を設ける必要がなくなったため**生産時間が1カ月当たり1日分（24時間）増加し、

生産性が**3.3% 向上**

実現された価値

オーガニック認証を取得したことで、市場価値が**30% 向上**

インドの鉄鋼メーカーが 水の節約を推進



インサイト

インドには世界人口の16%が集中していますが、インドで自由に使える水は全世界の水量のわずか4%です。インドは、水を大量に使用する産業である鉄鋼業が盛んな国でもあります。その水の多くはリサイクルされますが、2017年にインドの鉄鋼業では約1,180億ガロンの水が使用されました。

この流れを今まさに変えようとしているのが、インド最大規模の鉄鋼メーカーです。6年間努力を重ねた結果、この企業では水の消費量を23億ガロン削減することができました。これは、コルカタとブネーを合わせた人口より多い、790万人以上の人々が1年間に必要とする飲料水に相当します。

イノベーション

このように水を節約できたのは、同社の経営陣の取り組みとエコラボとのパートナーシップの賜物です。

エコラボが提供するスマートな水管理、3D TRASAR™などのデジタル技術、オペレーション管理サービスを通して、この鉄鋼メーカーは水不足の地域における冷却水の利用を最適化しました。冷却水にスケーリングや付着物が発生していたため、大量の水を使わなければ、冷却システムにおける再循

環率を上げるのは困難でした。3D TRASARのリアルタイムの監視および制御を用いて、水源の質を検知して変動を修正することで、これらの問題を解決すると同時に、真水の需要を減らすことに成功しました。これらの取り組みはまた、エネルギー消費におけるコストの節約と削減にもつながりました。

しかしこれはまだ始まりにすぎません。エコラボのデジタル技術は、工場のその他の重要回路内で水質を監視・制御することにより、さらに多くの真水を節約すると期待されています。また水の使用状況が、オンラインダッシュボードに追加されました。これにより、同社はより多くの情報に基づいて決定を下せるようになり、排水排出ゼロという目標達成に向けた大きな一歩を踏み出しました。

ソリューション

3D TRASAR™ テクノロジー

現場のサービスとシステム・アシユアランス・センターによる継続的な監視

年間節減量



水

3億8,000万

ガロン [1億4,500万 m³] の水。

1年間に必要な飲料水に換算すると、

132万人分に相当



エネルギー

6,525

メガワット時



空気

660万

ポンド [3,000トン] のCO₂ 排出量



生産性

オペレーション効率の向上により、
さらにコストが縮小

実現された価値

**年間
770万ドル**



SAP データセンター で安全な水を最適化



SAP はソフトウェア業界だけではなく、水の安全管理業務においてもリーダーです。エコラボと協力して水の処理に包括的なアプローチを取ることで、SAP はレジオネラ菌のリスクを最小限に抑えています。

インサイト

インターネットを利用するためには、情報の保存、管理、配信のためのデータセンターが常に必要です。デジタルトランスフォーメーションの増加とともに、データセンターは世界規模で急速に増大しつつあります。

データセンターとは多数のサーバーを設置した施設で、熱が発生します。したがって冷却が必要ですが、冷却には大量の水とエネルギーを必要とします。微生物の増殖防止も重要な点です。データセンターで利用されている水を適切に処理し、管理しなければ、レジオネラ菌が発生する危険性があります。レジオネラ菌は、重篤あるいは死に至るケースもある肺炎の一種、レジオネラ症の原因となります。アウトブレイクは重大な経済的損失を引き起こし、評判に傷がつきかねません。

ドイツを本拠地とする多国籍ソフトウェア企業、SAP は全世界で多くのデータセンターを運営しています。同社はテクノロジーを通して人々の暮らしを向上させるよう努めており、サステナビリティの実現に熱心に取り組んでいます。**従業員および事業を展開する地域のコミュニティのために水の安全を確保する業界のリーダーとして、SAP はバクテリアの脅威を未然に防ぐことを優先順位の高い事項としています。**

イノベーション

SAP は 2018 年、コロラド州コロラド スプリングスに 2 つのデータセンターを建設しました。データセンターの設計にあたり、同社のエンジニアはエコラボと協力し、水の安全を確保する適切な手順が実施されるように努めました。エコラボの 3D TRASARTM テクノロジーの導入と包括的な水管理計画もその中に含まれていました。このソリューションを通じて、エコラボでは SAP が水の安全に包括的なアプローチを取れるよう支援しています。つまり、水を適切に処理し、継続的に検査することでレジオネラ菌の脅威を最小限に抑え、安全な水を確保できるようお手伝いしています。

エコラボと提携することにより、SAP は全世界のデータセンターで利用されている水にかかわるリスクを積極的に管理しています。SAP は水の安全管理業務と水の安全への取り組みにおいて、常に業界のリーダーとして確固たる地位を築いています。エコラボは SAP がリスクを最小限に抑え、データセンター業界にとって妨げとなる予期せぬリスクを回避する一助となっているのです。

| |
|--|
| 生産性 |
| オペレーションの中断や事業上の優先事項の妨げによって生じる |
| 800 万ドル の収益損失の可能性を回避 ⁴ |
| 資産 |
| 冷却塔の耐用年数が 1 年延びるごとに |
| 5,000 万ドル 対象を絞って水の安全を確保する手法を採用したため |
| 安全 |
| 従業員と地域コミュニティの保護を強化し、レジオネラ検査のコンプライアンスを検証して、安全をさらに促進 |

実現された価値

260 万ドル
レジオネラ症のアウトブレイクを未然に防ぐことで回避できたコスト⁵

ソリューション

3D TRASARTM 冷却水技術

包括的な水の安全管理計画

ヒルトンによる環境フットプリントの最小化に貢献



インサイト

113 カ国に 5,700 以上の施設を持つヒルトンは、ホスピタリティとサステナビリティで世界をリードしています。2018 年、ヒルトンは「Travel with Purpose 2030」という新しい目標を発表しました。これらの目標は、社会、環境における地球規模の改善を押し進めることを目指しています。

このプログラムの目的は、持続可能な旅行を地球規模で推進し、国連の「持続可能な開発目標」に向けて意義のある貢献を図ることです。**ヒルトンは 2030 年までに、環境フットプリントを次の方法で半減させる予定です。**

- 水利用原単位を 50% 削減
- 廃棄物を 50% 削減
- 炭素排出量を 61% 削減

イノベーション

エコラボは、全世界で収容能力がさまざまに異なるヒルトンの施設と力を合わせて持続可能な節約を推進するとともに、ヒルトンのパフォーマンスが改善され、ゲストの満足度が確保されるようにサポートしてきました。

またヒルトンは、エコラボの技術を全世界で採用することによりサステナビリティに寄与する大幅な削減を実現しています。

- SMARTPOWER™: 革新的な化学と実行可能な知見、カスタマイズしたサービスを組み合わせた食器洗浄プログラム。食器を洗浄するとともに、水やエネルギー、コストを削減します。
- アクアノミック™: 低温ランドリープログラム。より低い洗浄温度で高品質な仕上がりが得られるプログラム。繊維製品を白く、色鮮やかにする一方でリネンの寿命を延ばし、水とエネルギーを節約します。

上記のプログラムでは、これら以外にも数々のソリューションが利用され、ヒルトンが Travel with Purpose 2030 で提示したサステナビリティに関する野心的な目標達成に向けて前進する一助となっています。

年間節減量⁶



水

4 億 1,700 万

ガロン [160 万 m³] の水。1 年間に必要な飲料水に換算すると、140 万人分に相当



エネルギー

7,030 万

kWh のエネルギーを節減



空気

2,830 万

ポンド [12,800 トン] の CO₂ 排出量を削減



廃棄物

90 万 3,000

ポンド [409,593 kg] の廃棄物を削減

ソリューション

3D TRASAR™ 冷却水用

アクアノミック™ 低温ランドリープログラム

オアシスプロ™ ハウスキーピング

SMARTPOWER™

Solid Power XL

ウォッシュンウォーク床用クリーナー

このパートナーシップこそが パッケージそのもの



インサイト

オンラインショッピングや宅配サービスの急増は、倫理的かつ責任ある方法で製造された梱包材を消費者が好むようになったことと相まって、パッケージング業界に多大な影響を及ぼしています。高品質の包装がこれまでになく重要になっていますが、同時にメーカーは環境への影響を最小限に抑える必要があります。

イノベーション

これらの目標の両方を達成するため、世界最大規模の製紙・パッケージメーカーが、長年のパートナーであるエコラボのグループ会社、ナルコウォーターに支援を求めました。専門的なサービスを提供し、プロセスや品質改善に焦点を当てることで、ナルコウォーターはこの企業がプロセスの最適化を達成し、漂白および洗浄水の処理から資産の寿命、信頼性、品質の改善にいたるまで、サステナビリティに関する節約を行うために重要な役割を果たしています。

ナルコウォーターは2018年、同社が米国内のある製紙工場においてタービン復水器の水の使用効率を改善できるのではないかと考えました。このタービンは工場が利用する電力のほぼすべてを発電しており、製紙工程全般にわたる重要部分となっています。ナルコウォーターは3D TRASARTM 水処理技術を導入することで、タービン復水器の効率向上を図りました。この効果は、製造の最適化と、水使用量の大幅削減という2つの面で現れました。その結果、ナルコウォーターは同社が達成した年間1億3,200万ガロンもの節水に貢献することができました。

ソリューション

3D TRASARTM 水処理技術

現場サービスと個人に応じた顧客
トレーニング

年間節減量



水

1億3,200万

ガロン [50 m³] の水を1カ所の拠点で
節減。1年間に必要な飲料水に換算すると、
45万人分に相当



生産性

タービン復水器の稼働効率の
改善により、生産性が向上

実現された価値

水使用量の減少、
化学品の効率的な利用により

**年間
60万ドル**



ブラジルの発電所が干ばつに一石を投じる



インサイト

半年も大雨が続き、施設で十分な水を確保できたところで、残りの半年は干ばつに悩まされることになったとしたらどうしますか。今ある水を清潔に保ち、さらに有効活用することでシステムのパフォーマンスを最適化し、水が不足している間のコストを削減する方法を探すことでしょうか。

Energias do Brasil (EDP) は、ブラジル北東部にある発電所でまさにこのような状況に直面していました。ソリューション: Purate™ オンサイト二酸化塩素生成

イノベーション

EDP の発電所では、冷却システムに湖水を利用しています。干ばつの間は湖の水量が減って水道料金が高くなるため、発電所は水を再利用することで湖からの取水量を低く抑えています。そこでこの発電所では、再循環の回数を平均 6 ~ 7 回から最大 10 回まで増やせないかと考えました。しかしそれを実現するには、水中に多く含まれる無機物や微生物の増殖を制御する必要があります。そのため、いずれも冷却システムのパフォーマンスに影響が及ぶ結果となったのです。

また、腐食や泡の問題も発生し、これらに対応するためそれぞれ異なる処置を行いました。しかし、これらの処置では冷却システムを清潔に保つことはできませんでした。

冷却システムの水質を制御するため、エコラボは Purate テクノロジーの導入を提案しました。 Purate は、それまでのソリューションよりも効果的に腐食や泡の問題を解決。また、除菌剤としても効果的で、微生物制御が改善され、化学薬品の消費量も減らすことができました。Purate とその遠隔データ監視機能を使用して、この発電所は冷却塔の循環サイクルを最大 10 回に高め、排出水の水質基準を満たして、1 年のうち乾季にも優れた運転効率を維持することができました。また Purate により、エネルギー使用量および温室効果ガスの排出量も大幅に削減することができました。

このパートナーシップにより、エコラボは 2017 年と 2018 年に EDP の最優秀サプライヤー賞を受賞しました。

ソリューション

Purate™ テクノロジー



年間節減量



水

3 億 1,600 万

ガロン [120 万 m³] の水



エネルギー

燃料節減量

283,000

MMBTUs [298 兆ジュール] 相当



空気

1 億 8,900 ポンド

[8,600 トン] の CO₂ 排出量を削減。

乗用車 1,800 台分の年間温室効果ガス排出量に相当



安全

削減した化学製品の使用量:

428,000

ポンド [194,137kg] の硫酸

60%

の消泡剤を削減

実現された価値

**年間
250 万ドル**



地元の飲食店がエコラボのテストキッチンに



インサイト

レストラン業界は、特にミレニアル世代の消費者の嗜好が変化していることにもなっ
て変化しています。個人経営のレストランや
地域的チェーンが人気を集めており、個人
経営のレストランは、米国だけで約 25 万軒
存在します。大手チェーンには、サプライ
チェーン、サステナビリティ、食品衛生の
専門チームがありますが、個人経営のレス
トラン経営者は、多くの場合、独力で解決し
なければなりません。そこで助けとなるの
がエコラボです。

Buttered Tin は、ミネソタ州セントポールで
人気の飲食店です。オーナーの Alicia Hinze
氏は、有名料理学校コルドンブルーを卒業
し、ケーブルテレビ Food Network が開催し
た「Cupcake Wars (カップケーキ戦争)」と
いう焼き菓子のコンテストで優勝した経験
を持ちます。事業の拡張計画にあたり、彼
女はエコラボのサポートを求めました。

「私はエコラボのファンです。私たちは素晴ら
しいパートナー関係を結んでいます」と彼
女は話しています。

イノベーション

Hinze 氏が 2013 年に The Buttered Tin をオー
プンしたとき、彼女が最初に必要としたのは、
限られたスペースに収まるカウンター下タ
イプの食器洗浄機でした。彼女は、業務用
食器洗浄機リースで世界最大のエコラボに
相談しました。

2015 年、Hinze 氏はエコラボの食器洗浄
機テストプログラムに参加しました。The
Buttered Tin で得られた教訓は、他のレス
トランの効率性とサステナビリティの向上に
役立っています。彼女は次のように述べて
います。「テストに参加した最大の理由は、水、
エネルギー、各種製品の節減方法を学ぶこと

でした。どのくらいの量を使用するのか。最
適な温度は何度か。いつも新しい発見があ
ります。」

小さなレストランでは、化学製品や設備の
最適化もコスト削減につながります。The
Buttered Tin では、クリーニング製品、洗浄剤、
除菌剤は、毎週かなりの費用がかかるため、
エコラボの効率性の高い製品は、水とエネ
ルギーの節減だけでなく、それらのコスト
削減にもつながります。

Hinze 氏は、開店を考えている将来の拠点が、
より持続可能な場所となるように努めてい
ます。そしてエコラボは、初日からその拠
点を支援します。彼女は次のように語ります。
「サステナビリティは、フロア図面の時点から
始まります。エコラボの食器洗浄機と製品
をどこに配置するか。あるいは床自体に至る
まで、エコラボは、どの製品を使い、どの
ように洗浄すべきか、アドバイスしてくれま
す。これらを正しく行うことは非常に重要で
す。それが、製品、時間、エネルギー、水の
節約につながるからです。」

ソリューション

U-UHT 高温アンダーカウンター食器
洗浄機

Ultra Klene および Ultra Dry 食器洗浄
機用製品

ウォッシュンウォークすすぎ不要床用
クリーナー

オアシス 146 除菌剤

PanTastic 無リンポット & パン洗浄剤

年間節減量



水

効率性の高い食器洗浄機の導入、水使用
量を 50% 削減する床洗浄剤により、

960

ガロン [3,600 リットル] の水を節減



エネルギー

効率性の高い食器洗浄機の導入、
低温の床洗浄により、

290

kWh を節減



廃棄物

包材が少ない濃縮製品を使用すること
で最大

37%

廃棄物を削減



安全

食品衛生を向上させるため

99.9%

の殺菌効果を持つ製品を使用して交差汚
染のリスクを低減

スリッパや転倒しにくい製品を使い、
従業員や来店客の安全性を改善

スチュワー シップを 通した インパ

2

共通の ステークホルダー

改善のためのパートナーシップ

環境におけるステークホルダーシップとは、水をはじめとする共通の資産など、大切に保全すべき資源を管理して守ることを意味します。当社は人と自然への投資を通じて、欠かすことのできない天然資源を脅かす世界的な問題に対処し、あらゆる存在にとって健康的で持続可能な未来を確かなものにできるよう取り組んでいます。



すべての人々に清潔で豊かな水を提供



水不足は、近年、各地で生じている問題です。人口増加、経済成長、気候変動の影響により、この重要な資源に負担がかかる中、エコラボは、企業による水使用量の削減と、コミュニティや自然環境のニーズを守るための措置を支援しています。

国連の持続可能な開発目標6では、2030年までに「すべての人々に水と衛生へのアクセスと持続可能な管理を確保する」ことが求められています。エコラボはお客様への支援を通じて、合計で年間1兆ガロン以上の水の管理をしており、企業が国連のこの目標に貢献するうえでこれだけの手助けができる企業は当社をおいてほかにありません。

地球上に存在する、基本的な水の必要を満たすことができない9人に1人の人々を助け、今日、水のストレスの高い地域に住む20億人以上の人々の力になり、ここ数十年間で何億人もの人々を貧困から救い出してきた世界的な成長を維持したいのであれば、産業界はより少ない水でより多くのことをしなければなりません。この目標は達成可能ですが、実際には、企業の水使用量の節減が十分に進んでいるとはいえません。

エコラボでは、あらゆる規模の企業が、業務の効率を改善し、持続可能な成長を推進できるように、水の節減、再利用、リサイクルを支援しています。また、当社自身が工業用水を使用する事業者であり、事業を展開している地域の他のステークホルダーと協力しながら水資源を維持するステュワードシップの価値を認識しています。当社は、お客様、公的機関、非政府組織と協力して、スマートな水管理手法を世界中に拡大しています。

ウォーターズチュワードシップは地球を守るための重要な側面であると同時に、企業の競争力と回復力を強化し、前向きな経済を構築して、人々や地域社会の繁栄に貢献します。

世界の責任ある水利用の推進

エコラボは、持続可能な水の利用を促進する世界的な連合である Alliance for Water Stewardship(AWS)の創設メンバーです。当社は AWS 認定フレームワークである International Water Stewardship Standard の立ち上げと実施に積極的に関与しました。2015年、中国・太倉（タイカン）市にある当社工場は、単独でこの基準を満たした工場として、世界初の認定を取得しました。カリフォルニア州カーソンとシティオブインダストリーにあるエコラボの工場では2017年に認証を取得しており、ルイジアナ州ゲイリービル工場は2019年の認証取得に向けて順調に準備を進めています。



世界的な水問題



世界の表面の **71%** が水で覆われています

人間が利用できるのはわずか **0.3%**

世界の人口

現在：**75 億人**

2050 年：**98 億人**⁷



9 人に 1 人が基本的な飲み水をありません⁸



対策を講じなければ **2030 年**までに世界の水需要が供給量を **40% 超過**⁹



高所得国では、産業用水が全水使用量の **40%** 以上を占め、場所によっては最大 **59%** を占める¹⁰



世界の排水の **80%** が未処理のまま排出¹¹

リサイクルされるのは **わずか 3%**¹²

エコラボには、これを大幅に改善できる知識と技術があります。今こそ、スマートな水管理が必要です。

変化のためのツール



水の価値をフルに活用

企業にとって、水の本当の価値は、単なる水道料金の数字ではありません。ビジネスにとって水不足のコストは、多くの場合、水道料金をはるかに上回ります。エコラボの Water Risk

Monetizer は、2014 年に Microsoft と Trucost の協力を得て提供を開始し、2017 年に更新されたツールであり、ユーザーの施設ごとに水不足のコストを金額で表します。このツールは、企業が健全な事業戦略を策定し、水不足がますます深刻化する世界で成長するうえで役立つ、実践的な情報を提供します。www.waterriskmonetizer.com



企業の水使用量削減目標に基づいて、現場で成果を実現

ほとんどの企業には節水目標がありますが、どのように達成するかを知っている企業は多くありません。このギャップを埋めるため、当社は業界をリードする

アドバイザーと協力して、エコラボ Smart Water Navigator の提供を開始しました。このツールでは、オンラインによる評価を利用して、業種、拠点、現在の水のパフォーマンスに合わせて、各施設の段階的なガイドを作成します。このガイドを利用すると、施設は真の循環型水管理を習得し、スマートな水管理を極めるまでその実践を改善することができます。

このツールは、施設の数（1カ所でも数百カ所でも）や業界に関係なく、世界中どこでも無償で利用できます。

www.smartwaternavigator.com

人々と自然のためのパートナーシップ

当社は、私たちが住み、働き、遊ぶ場所にプラスの影響を与えることができるよう取り組んでいます。エコラボ基金は、生活に不可欠なスキルを構築し、生態系を維持する活動を促進するとともに、重要な資源を利用し、貴重な経験を得られるように活動しています

1986年以來、**エコラボ基金**は、世界中の非営利団体に**1億1,400万ドル**を寄付してきました。2018年には、企業寄付、非政府組織（NGO）への助成金、製品の寄付、従業員のボランティア活動を通じて、**17,000ドル**相当の貢献を行いました。

エコラボ基金は、水を中心とした青少年・成人教育、アート、環境を支援するコミュニティに助成金を提供しています。

気づき

変革はまず気づくことから始まります。当社は寄付やボランティア活動を通じて教育を支援し、自然環境と調和した健康な生活の基盤を構築します。

教育の支援

- エコラボは、幼児教育と大学へのアクセスを支援するため**700万ドル**を拠出しました。これには、ミネソタ大学でのサステナビリティ研究と教育を目的とした**500万ドル**の助成金が含まれます。（右コラムをご参照ください）
- 青少年に自然や自然保護に関する教育を行う各団体に対し、**43万5,000ドル**の支援が提供されました。

SOLUTIONS FOR LIFE

- エコラボは、Solutions for Lifeを引き続き支援しました。このプログラムは、プロジェクト WET 財団および The Nature Conservancy (TNC) とのパートナーシップを通じて、世界中の水資源を保全し、衛生状態の向上を図るというエコラボの使命を支えています。これは国連の持続可能な開発目標 6 に沿ったもので、すべての人々に清潔な水と衛生的な環境を確保するものです。

プロジェクト WET 財団

- プロジェクト WET が提供する Clean and Conserve 教育プログラムは、水資源の保全と衛生に関して複数の言語で

学べる無料のカリキュラムで、これまでに**88カ国で700万人**以上が利用しています。この無料の教育ツールは、www.projectwet.org/cleanandconserve からアクセスできます。

- エコラボは 2018 年、プロジェクト WET の学生向けウェブサイト DiscoverWater.org に対し、3 年間のスポンサーシップを約束しています。



次世代の専門家をトレーニング

企業や社会にとってサステナビリティの問題が重要性を増す中、斬新なアイデアやソリューションを提供する専門家のパイプラインを着実に構築することが求められます。そのため、エコラボ基金は 2018 年、環境のサステナビリティに関する研究、学生への奨学金、および教育を支援するため、ミネソタ大学に 500 万ドルの助成金を供与しました。

このプログラムの中核となるのは、同大学の環境研究所の新たな寄付講座への 200 万ドルの資金提供です。一連のコンファレンスでは、この分野の権威が一堂に会し、重要な環境問題の進展を図ります。

また、同基金は、学部学生向けの奨学金として、180 万ドル以上を拠出する予定です。さらにエコラボ基金は、グローバルおよび現地のパートナーと協力して、水の品質と供給、エネルギー、持続可能な開発、公衆衛生に焦点を当てた、学生向けの没入型体験を支援するために、追加の資金を提供します。

行動

行動のないところに変革はありません。当社の従業員は、毎年、何万時間もの時間を費やして、助けが必要な人々を支援し、自然環境の回復に取り組んでいます。



ボランティア活動

- 2018年は、**6,700**名以上のエコラボのボランティアが、**15カ国**、**280**のプロジェクトに参加しました。ボランティアが投じた時間は、**66,000**時間を超え、金額に換算すると**200万ドル**に相当します。
- エコラボのグローバル チーム ボランティア助成金プログラムは、世界中の**60**のイベントに**42万ドル**を拠出しました。これには、ハビタット フォー ヒューマニティ (Habitat for Humanity) の住宅供給を支援

する**1,000**人のボランティアによる**8**つのプロジェクト、困窮者に食品を提供する**19**のプロジェクト、ザネイチャーコンサーバシー (The Nature Conservancy) とのパートナーシップによる**2**つの大規模な環境保全プロジェクト (ボランティアが**2,000**本の木を植樹)のほか、数多くの小規模な地域的取り組みが含まれています。

THE NATURE CONSERVANCY

- The Nature Conservancy とのパートナーシップを通じ、ミネソタ州でミシシッピ川の源流を保護する活動を継続的に行っています。さらに中国の東江流域と青島湖を保護するための資金も支援しました。
- さらに両者のパートナーシップは、メキシコのクンプレス・デ・モンテレイ国立公園の森林再生に向けて、年間**6万本の松の苗木**を供給する育苗圃の資金調達にも役立っています。

アクセス

当社はあらゆる活動において、取り残される人がいないように努めています。強固で思いやりのあるコミュニティを育成するとともに、基本的なニーズ、教育、文化へのアクセスを拡大しています。

コミュニティの強化

2018年のエコラボによる支援：

- **400万ドルの資金**が、社会的弱者向けに食品、住居、職業訓練などを提供する団体に交付されました。
- **94万ドルの助成金**が、青少年への科学、技術、工学、数学 (STEM) 教育の目的で付与されました。
- **73万5,000ドル**が、舞台芸術や芸術教育向けに提供されました。
- さらに、米国内**26カ所**の**United Way**支部には、エコラボ従業員からの寄付とのマッチングプログラムによって**100万ドル以上の助成金**が贈られました。

災害後の清掃

災害が発生すると、病気や感染症が起りやすくなります。エコラボは、洗浄・衛生ソリューションの世界的トップサプライヤーとして、助けを必要とする人々に支援を提供しています。

エコラボは、World Emergency Relief および Good360 とのパートナーシップを通じて、エコラボ製品 617,400 ポンド、総額 150 万ドル相当を救援活動に寄付しました。

エコラボ製品はハリケーンや地震の被災者に配布されました。当社はまた、米国の複数の州をはじめ、ベリーズ、エルサルバドル、グアテマラ、ガイアナ、ハイチ、ホンジュラス、インドネシア、ジャマイカ、メキシコ、モルドバ、プエルトリコにおける災害救援などの取り組みを支援しました。

3

いつでも、どこでもその先を目指して

当社のサステナビリティへの取り組みは、お客さまの支援や社内業務を通じた貢献にとどまりません。決定的な変化のためには、さらなる努力が必要です。当社は新技術の開発、政府および非営利団体との提携、結果を出すことにより、責任あるトップ企業として模範を示すべく日々努力しています。それはすべて、世界をより清潔に、より安全に、より健康にするという当社の使命の一環です。



A man in a dark blue suit and light blue shirt is looking at a large digital dashboard. The dashboard displays various data visualizations, including a bar chart with colored bars (green, yellow, red), a donut chart with a blue segment, and several numerical values. The background is dark, and the dashboard is brightly lit.

リーダーシップ

自らが模範となる

エコラボでは、お客様の事業を通じて、また、自社の事業活動の両方で、天然資源の保全と温室効果ガスの排出抑制に努めています。

お客様を通じた当社のインパクトは、自社の施設で達成できるインパクトをはるかに超えています。当社は2018年に、お客様への協力を通じて、全世界で合計1,880億ガロンの水を節約しました。これは6億5,000万人が1年間に必要とする飲料水に相当します。2030年までに年間3,000億ガロン（10億人の人々が必要とする飲料水に相当）の削減という目標を達成できる見込みです。

また当社の支援により、お客様は19兆BTU以上のエネルギーを節減し、24億ポンドの温室効果ガス排出を回避しました。

自社業務においては、2015年を基準値とした原単位ベースで取水量を1.4%削減しており、2020年までに原単位ベースで25%の削減を目標としています。今後さらにペースを上げるため、2020年末までに複数の節水プロジェクトを完了させる予定です。

イリノイ州クリアリングの当社工場の水使用量はエコラボで最大ですが、私たちはここに最先端の水再生システムを設置しました。このシステムはフル稼働時、工場の水使用量を最大20%削減することができます（32ページをご覧ください）。ルイジアナ州ガリービル

の当社工場は、ろ過したミシシッピ川の水を再利用することで取水量を1日85,000ガロン削減しました（32ページをご参照ください）。

当社は2018年に、2015年を基準値とした原単位ベースで温室効果ガスの排出量を原単位ベースで8.4%削減しました。2020年までに10%削減という目標の達成まであと少しと迫っています。ベストプラクティスの標準に従い、財務報告を拠点ベースから市場ベースに切り替えました。これにより、ますます増えつつある再生可能電力の購入と施設での発電を計上できるようになりました。

排出量削減を後押ししているのは、ヨーロッパにおける再生可能電力の購入のほか、全体的な水効率とエネルギー効率の向上です。2018年に締結した北米における再生可能電力の契約（32ページ参照）により、全世界での温室効果ガスの排出目標を大幅に超えることができる見通しです。

製品のサステナビリティ

エコラボは、製品のサステナビリティについて包括的なアプローチを取っており、ソリューションの総合的な成果を重視しています。当社の製品やプログラムは、お客様、天然資源、従業員を保護するように設計されています。人間の健康と環境への影響は、厳格で世界的に受け入れられている科学的指標を使用して評価しています。エコラボは、安全について一切妥協しません。

消費者の価値観の変化と法の監督によって市場が変化する中で、エコラボのすべての従業員は、時代を先取りした製品ポートフォリオを構築するとともに、お客様に最新の情報を提供して、人類と地球のために正しい選択を行う責任を共有しています。

エコラボのアプローチは、安全で信頼性が高く、経済的な方法で最高のソリューションを提供するには、システムエンジニアリングと、製品、パッケージ、デジタルテクノロジー、トレーニング、サービスを一体として提供する必要があるという信念に基づいています。これには、お客様が法律や製品開示要件の変更に対応するためのサポートも含まれます。

エコラボは、ポートフォリオのすべての化学物質を綿密に追跡しています。材料・製品情報は、ERP（Enterprise Resource Planning：企業資源計画）システムを通じて、きわめて詳細なレベルで一元的なデータベースに蓄積・管理されています。

このシステムには、世界および地域の制限物質リストが含まれており、エコラボは既存の製品を管理するとともに、新しい技術革新を評価することができます。このデータベースは非営利団体 Chemical Footprint Project（企業を評価して、懸念の高い化学物質を減らし、より安全な代替物質を選択する団体）による審査も可能です。

エコラボは、クラス最高のプログラムと業界トップレベルのサービスを組み合わせることで、規制要件のレベルをはるかに超えた品質を提供し、ソリューションの持続可能な成果を長期的に確保します。

エコラボの 2020 年 サステナビリティ目標

取水量の削減
25%*

温室効果ガス排出量の
削減 **10%***

カスタマーインパクトの目標

2018 年、エコラボのお
客さまが削減した水使用
量
**1,880 億ガロン
以上**

1 年間に必要な飲料水に換算すると、
6 億 5,000 万人分に相当。

エコラボは自社とお客さまの企業活動における水の消費量を削減することで、2030 年までに年間 3,000 億ガロンの節水を目指しています。

この量は、1 年間に必要な飲料水、
10 億人以上に相当します。

*売上額 100 万ドル当たりの原単位で測定

ダイバーシティ&インクルージョンへの取り組み

多様性と包摂性に富んだチームこそ最高のチームだとエコラボは考えています。当社の目標は、地域社会の性別・民族構成を反映した職場を作ることであり、従業員プログラム、採用、人材育成の取り組みはこの方針に従って行われています。

2018 年には、人材プールの多様性を高めるために採用戦略を強化しました。候補者の多様性を重視するとともに、従業員の経験のあらゆる側面に多様性と包摂性を組み込み始めました。

当社の取締役会は年に 2 回、構成比の評価基準を見直しています。シニアリーダーは、雇用と昇進の改善について責任を負っています。タレントカウンスルが四半期ごとに多様な人材の能力開発計画を作成し、事業部門、管理部門、リジョンごとのスコアカードを検討し、進捗や機会がある領域について話し合い、さらなる向上について助言します。

当社の 10 の Employee Resource Group (ERG) は、エコラボの多様性ある文化の象徴です。従業員はそれらを利用して、能力開発、ビジネス上の洞察の共有、エンゲージメントと帰属意識の促進を図ります。6,000 人近い会員が、世界中にある 72 の支部に所属しています。2018 年時点の会員率は 25% まで拡大しました。

2018 年のマイルストーン

- Business Statement for Transgender Equity に署名
- Executive Diversity and Inclusion Council 発足 1 周年
- CEO Action Pledge for Diversity and Inclusion 署名 1 周年
- ミネソタ州ツインシティーで行われた Pride Parade に初参加。会長兼 CEO Doug Baker と CHRO Laurie Marsh がエコラボの団を一先導。
- 従業員向けにアンコンシャスバイアスに関する研修 50 回実施
- 多様な民族の人々にサービスを提供している組織に対するコミュニティ助成金を 100% 獲得
- 経営陣の多様性の拡大：取締役会の 36% が女性、14% が有色人種
- 経営陣の女性比率増加：2016 年と比較して 17% 増加
- 経営陣の有色人種の割合拡大：2016 年と比較して 36% 増加

カスタマーフォーカスの スマートソリューション

より速く、よりスマートに、より良く。これこそがエコラボが目指すものであり、その実現のためにはイノベーションが欠かせません。9,400 件の特許を持つエコラボは、これまでに数々の新しいプログラムや技術を生み出しており、お客さまが時間とリソースを有効活用できるよう支援しています。このことは2018年も同様です。

当社の19カ所の研究開発センターでは、1,600人の科学者、エンジニア、技術専門家が、お客さまに価値を提供することを常に念頭に置いて、新しいより優れたソリューションの開発に取り組んでいます。エコラボの製品は、ほとんどのケースで、効率アップやコスト削減、環境へのインパクトなど、さまざまなメリットをもたらします。

パッケージや化学原料から、高度な分析、デジタルテクノロジーに至るまで、世界中のお客さまの事業における収益性、効率性、持続可能性を向上させるための支援方法を絶えず考えています。当社が開発プロセスの最初のステップから eROI（指数関数的な投資収益率。1 ページ参照）を組み込んでいるのはそのためです。

2018年のイノベーション

MARKETGUARD™ 365 は、オンラインポータルとモバイルアプリを通じて、食品小売業者のための食品衛生データを収集・統合します。このツールは、コンプライアンスに関する知見をリアルタイムで提供するとともに、食品衛生タスクと温度監視をデジタル化します。

enVision™ は、業務用のスマートランドリー管理システムです。ランドリーマネジャーはこれを使用してリアルタイムの情報と実践的な知見を入手することで、品質の一貫性、効率の向上、運用コストの削減を実現できます。

Washer Process Monitoring System は、手術器具の洗浄と滅菌をプロアクティブに監視します。実践的な知見とデジタルドキュメントを提供して、より安全で効率的かつ持続可能な患者ケアの実現を支援します。このシステムには、最高レベルのクリーニング標準に適合していることを確認する高度な洗浄インジケータのほか、アプリベースのデータ収集機能、ダッシュボードによるレポート作成と分析機能が搭載されています。

Ultis™ Dry² Strength Technology は、製紙会社が繊維とエネルギーの消費を抑えながら、丈夫で軽量の箱を製造するうえで役立つ乾式化学添加剤です。パッケージが軽量でコンパクトなため、液剤よりも安全に取り扱うことができ、輸送ニーズを最大 90% 削減できます。これにより、お客さまのカーボンフットプリントが縮小します。

非リン冷却処理 は、顧客企業が厳しい排出規制に対応できるよう、急速で有害な藻類の生成を防止します。この処理により、水の条件が困難な場合のパフォーマンスが改善され、資産寿命が延びます。

Food Protect Plus Fumigation は、食品メーカーがバリューチェーン全体にわたって害虫を駆除するための製品です。船舶貨物、輸出入、穀物貯蔵、倉庫、製造施設の燻蒸が可能です。エコラボの燻蒸処理に関する専門知識と総合的なアプローチにより、お客さまは、予定外のダウンタイムと人件費を抑えながら、安全な食品を提供することができます。

Scrub Free バスルーム用クリーニングシステムは、高度な化学処理と人間工学に基づいて設計されたフォームスプレーを装備しているため、クリーニングをより簡単、迅速、かつ安全に行うことができます。このシステムは、労働効率を改善して、バスルーム1室当たりの清掃時間を最大2分短縮するため、ホテルのように多数のバスルームの清掃が必要なところでは、多大な人件費の削減につながります。また身体的な負担の軽減、無理な姿勢での作業時間の短縮、けがのリスクの軽減など、従業員の安全性を高めます。



“米国だけでも、**66 万件のレストラン**が存在し、そのほとんどの店舗に、少なくとも1台の食器洗浄機が設置されています。それらの食器洗浄機が全部稼働しているとすると、膨大な量の水とエネルギーを節減できる可能性があります。”

JONATHAN BUTWINICK
(エコラボ 研究開発&エンジニアリングプログラムリーダー)

1台の食器洗浄機から、世界を変える

エコラボのイノベーションの可能性は、従業員にかかっています。当社の研究開発&エンジニアリングチームは、システムの効率化、環境への影響の軽減、お客さまのコスト削減を実現するために、日々取り組んでいます。

Jonathan Butwinick は、そのようなイノベーターの1人です。彼は、研究開発&エンジニアリングのプログラムリーダーとして、エコラボのレストラン向け **EHT 食器洗浄機**の開発を率いています。Butwinick は、エコラボ入社前は、航空宇宙業界で大型旅客機の航空電子機器センサーを設計していました。彼がエコラボに転職したのは、環境と公衆衛生に対して、より大きなプラスの影響をもたらしたいと考えたからです。彼は次のように述べています。「家族とレストランで食事を楽しんでいるときにそうしたことを考える人はいないと思いますが、食器洗浄機は私たちの食品衛生を維持するうえで大きな役割を果たしています。食器洗浄機が

正しく機能しなければ、食品や細菌が食器に残る可能性があります。また食器を手で洗い直さなければならない場合は、交差汚染の危険があります。

EHT 食器洗浄機は、温度と機械的動作、化学薬品を画期的な形で組み合わせることで、一般的な家庭用の食器洗浄機が60分かかるところをわずか60秒で処理します。また、これまでのモデルと比べて、水とエネルギーの使用量が50%削減されます。新しく設置する食器洗浄機は、従来の食器洗浄機と比較して、1台につき、毎年バックヤードのスイミングプール2個分水道と、トヨタプリウスを毎日200マイル走らせることができるエネルギーを節減します。それぞれの食器洗浄機は遠隔監視されており、エコラボからレストランに対して潜在的な問題を知らせたり、問題が顕在化する前にスタッフを送ったりすることができます。

Butwinick は次のように語っています。「これは、エンジニアとして航空機システムの設計に勝るとも劣らない、困難でしかもやりがいのある仕事です。食器洗浄機の開発は、それほどおもしろい仕事に見えないかもしれませんが、それが毎日世界に与える膨大な影響を考えてみてください。現在、米国だけでも、66万件のレストランが存在し、そのほとんどの店舗に、少なくとも1台の食器洗浄機が設置されています。それらの食器洗浄機が全部稼働しているとすると、膨大な量の水とエネルギーを節減できる可能性があるのです。」

必要と ころに 投資する

お客さまに役立つことは、エコラボも自ら実践しています。水の再利用とリサイクル、廃棄物やエネルギー使用量、温室効果ガス排出量の削減、共有資源を最も持続可能な方法で使用するためのコミュニティと協力など、当社は常に環境フットプリントの削減に取り組んでいます。

年間で数百万ガロンを節水 | イリノイ州クリアリング

イリノイ州クリアリングの当社工場は、エコラボ最大のコロイダルシリカの生産拠点です。コロイダルシリカは、ナノテクノロジーから LED 照明、スマートフォンの画面、金属に至るまで、ありとあらゆるものに使用されています。しかし、コロイダルシリカの製造には水を大量に使用します。クリアリングの工場では、エコラボのすべての製造施設で使用する水量の 4 分の 1 が使われており、使用量は他のどの施設をも上回っています。

クリアリング工場で当社が採用している節水の方法の一つに、工業用水の再利用があります。この方法を採用した結果、1 トン当たりの使用水量を低減しながら、コロイダルシリカの製造量を拡大することができました。

また、同工場にはコロイド工程から排水を取り込んで処理してから再利用する水再生システムを設置しました。フル稼働時には工場の水使用量が、最大 20% 削減される見込みです。

クリアリングの工場は、旧式の工場でも新しい工場と同じように節水に貢献できることを証明しています。2019 年にオープンする Clearing Customer Experience Center では、これらの技術をお客さまにご紹介しています。

風力発電契約がエコラボにおける温室効果ガス排出量削減の目標達成を後押し | テキサス

エコラボは 2018 年後半、再生可能エネルギー企業の Clearway と仮想電力購入契約 (VPPA) を締結しました。同社は、テキサス州に 418 メガワットの風力発電所を建設中です。この発電所が 2020 年に操業を開始すれば、エコラボは全発電量のうち 100 メガワットの供給を受けます。これは一戸建て住宅 27,000 戸分の 1 年間の使用電力に相当します。

この契約により、エコラボは米国における年間消費電力の 100% をまかなえることとなります。

削減される温室効果ガス排出量は 25% に及びます。これは、2020 年までに 10% の削減を目指すエコラボの目標値の 2 倍以上です。

取水量を 1 日あたり 85,000 ガロン削減 | ルイジアナ州ガリービル

ルイジアナ州ガリービルにあるエコラボの工場は、生産量で第 2 位の製造拠点であり、水の使用量でも第 2 位です。ミシシッピ川のほとりにある同工場は、川から毎日 60 万 ~ 70 万ガロンを取水しています。

工場では、サンドフィルターと連続逆洗技術を用いて川の水を浄化してから製造工程に使用し、再びミシシッピ川に排出しています。フィルターの使用により、高い水質が確保できますが、以前はフィルターの洗浄に 1 日あたり 100 ガロンもの水が必要でした。

2018 年に製造工程の開始段階で、逆洗により得られる水の再利用を開始しました。これにより、工場の川からの取水量は 1 日あたり 85,000 ガロン減少しました。また、化学薬品の使用量も少なくなり、ポンプを稼働させるための電力も削減できたのです。

100% 再生可能エネルギーを目指して | ヨーロッパ

当社は今年、2020 年に向けてヨーロッパ工場を対象に、使用エネルギーの 100% を再生可能エネルギーにするという大胆な目標を立てました。そして現在 99.4% が再生可能エネルギー由来であり、目標達成まであと一息のところまでできています。目標達成に向けてこれまで、よりエネルギー効率の高い製造設備の調査、地域全体での白熱灯から LED 照明への切り替え、再生可能エネルギーの購入、ソーラー パネルの設置などを行ってきました。

Clearway が建設する予定の新しい風力発電所は、米国におけるエコラボの年間エネルギーを 100% まかなう見込みです。

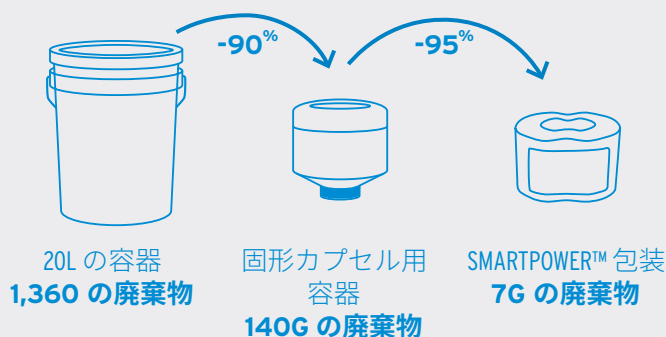
プラスチックのパッケージを削減

エコラボでは、プラスチックの使用量を着実に削減しています。2018年は、バージンプラスチック使用量を1,500万ポンド以上削減しました。お客さま向けの製品の設計・パッケージ方法のイノベーションにより、プラスチックの使用量を2014年から今までに7,100ポンド削減しました。またプラスチック包装材のリサイクル量を2014年以降、毎年10%増加させています。

エコラボによるプラスチック使用量の削減方法

食器用洗剤

SMARTPOWER™ 食器洗浄プログラムでは、容器がかさばる液体洗剤からシュリンクラップされた固体カプセルに移行することにより、1960年と比較して、洗浄結果はそのままプラスチック使用量を99%以上削減しました。



プラスチックの削減：99%

洗浄製品

Oasis Pro システムでは、従来、使い捨てボトルに入っていた業務用洗浄製品を、再利用可能なボトルに変更し、詰め替え用を小さい袋で提供しています。

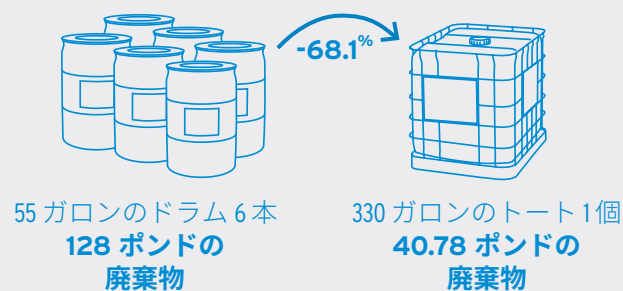


プラスチックの削減：99%

再利用可能なトートに入った工業用化学薬品

55ガロンのドラム型容器6本に入れる代わりに、1個の330ガロン入り中間バルクコンテナ（IBC）で納入することで、プラスチックを87.2ポンド削減。

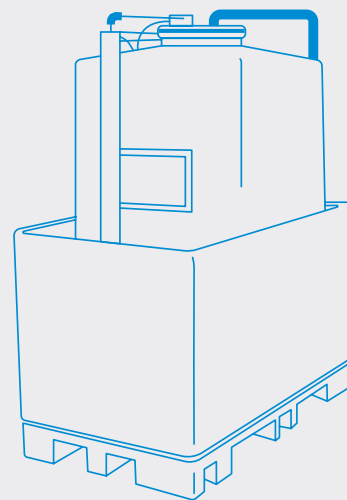
エコラボのドラムとIBCは、最長3年間再利用可能です。これにより、55ガロンのプラスチックドラムの新規購入台数を約24%削減し、IBCの新規購入台数を25%以上削減できます。



プラスチックの削減：
2018年度で1,000万ポンド

PORTA-FEED™ 容器

1985年、エコラボのナルコウォーター事業部は、使い捨てのプラスチックドラムの代わりに、スチール製の再利用可能なバルクコンテナで工業用化学薬品の提供を開始しました。PORTA-FEEDプログラムの導入以来、化学薬品用ドラムの廃棄が400万本以上削減されました。



400万本のプラスチックドラムを節減
(1985年以降)

インシデント ゼロに向けた 取り組み



エコラボのあらゆる拠点および当社が業務を行う場所で、安全上、健康上、環境上のインシデントがゼロであること。それが当社が自らに課した安全目標です。

エコラボはこの目標に取り組む過程において、高いグローバルスタンダードを設定し、複雑な世界中の従業員に当社の安全プログラムを提供する新しい方法を開発することを重視しています。データに基づいてリスクを低減するとともに、教育し、エンゲージメントを高め、チームメンバーにより多くの権限を与えるように取り組んでいます。危険な状況では、すべての人が作業を中断する必要があります。従業員の健康と安全は、当社の最優先事項なのです。

ドライバーの安全性向上

170 カ国以上で、27,000 人の現場のスタッフが、約 300 万カ所の顧客施設を訪問しているエコラボにおいて、運転は重要なリスク要因であり、改善が求められる主要な領域です。当社では 2013 年と比較して、車両総事故率が 8%、重大車両事故率が 29% 減少しました。

2018 年には、米国の害虫駆除部門がドライバーセーフティ予測プログラムを試験的に実施した結果、事故が 30% 減少しました。このプログラムでは、トレーニングと

コーチングを用いるとともに、デジタルテクノロジーを応用して運転中の行動や交通違反切符などの指標を測定し、事故を起こす可能性の高いドライバーを特定します。このプログラムは、2019 年に米国とカナダで導入されることが決まっており、2020 年以降、その他の国にも拡大される予定です。このプログラムのメリットは、職場だけにとどまりません。業務で身に付いた適切な運転習慣は、就業時間外での運転にも活かされ、家族や地域の安全性の向上につながります。

業務を行うあらゆる場所での安全

2018 年、北米において当社の傷病発生率が 3%、休業を伴う労働災害発生率が 5% 低下しました。

今後も引き続き事故や傷害を低減するために、全従業員が安全情報に容易にアクセスできるようにしています。2018 年にエコラボは、全従業員、全事業部、すべての国にある自社のサプライチェーン組織内で、高レベルのリスク認識とリスク軽減に重点を置いた 13 のグローバルポリシーを制定しました。

このポリシーは、すべての従業員に対して共通の要求事項とツールを設定するものです。エコラボのグローバル安全プログラムは、すべてのモバイルデバイスで動作するアプリを通じて従業員が容易にアクセスでき、19 言語で利用できます。これにより、従業員のニーズに合った真のグローバルツールを整備することができました。

その結果、数多くの従業員の間で会社の安全プログラムに対する認識が深まり、同時に傷病発生率が改善されました。

安全文化

安全について優れた成果を挙げている企業は、安全、健康、環境を最優先する文化を育てています。

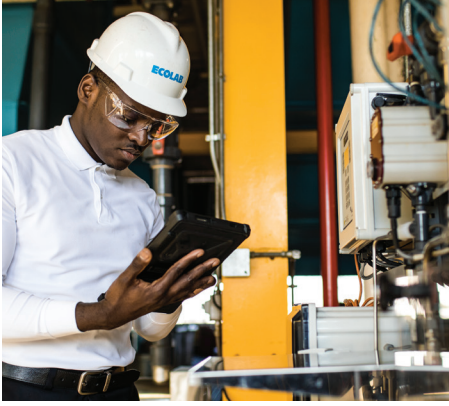
2018 年、エコラボは全従業員を対象にグローバルエンゲージメント調査を実施し、自社の安全文化を評価しました。これらの調査では、リーダーシップのサポート、トレーニングの適切さ、従業員が安全でないと感じた場合に仕事を中断できると感じているかなど、職場の安全のさまざまな側面について質問が行われました。

安全に関する質問には、グローバル調査の中で、最も肯定的な評価が与えられました。エコラボでは、85% が肯定的な回答でした。これは他のフォーチュン 500 企業でのベンチマークよりも有意に高い数値です。さらに重要なことに、これらの質問によって、当社の安全文化にさらに改善できる領域があり、引き続き向上させる余地があることが明らかになりました。

エコラボは、このような余地を捉え、組織全体の安全性をさらに強化していきます。事故ゼロに近づいても、当社の従業員や私たちが接する人々の安全は常に最優先事項であり続けます。

GOAL ZERO

当社が最も重視する安全目標はインシデントゼロです。ゼロという目標は単なる数値ではなく、それを達成するまでの過程に意義があります。目的達成の過程において、エコラボはトレーニングと教育に重点を置いています。当社の施設とお客さまの拠点の両方において、作業を開始する前にリスクを評価して、安全に関わる問題を発見して対処し、危険な状況を改善します。



2018 年度 安全指標

記録義務のある傷病発生率

(従業員 100 人当たりの傷病者数)

| | 2017 | 2018 | 増減率 |
|-----------|------|------|------|
| 北米 | 1.77 | 1.54 | -13% |
| ヨーロッパ | 0.68 | 0.90 | 32% |
| アジアパシフィック | 0.31 | 0.50 | 61% |
| グレーターチャイナ | 0.27 | 0.23 | -15% |
| ラテンアメリカ | 0.67 | 0.99 | 48% |
| 中東・アフリカ | 0.63 | 0.35 | -44% |
| エコラボ合計 | 1.17 | 1.13 | -3% |

休業を伴う労働災害発生率

(従業員 100 人当たりの休業日数)

| | 2017 | 2018 | 増減率 |
|----|------|------|-----|
| 北米 | 0.83 | 0.79 | -5% |

エコラボにおける負傷および事故の報告用プラットフォームのウェブベースへの移行にともない、北米以外での休業を伴う労働災害発生率の一貫性に改善の余地があることが判明しました。2019 年も引き続きこの点を改善していきます。

総車両事故率 (TVAR)

(走行距離 100 万マイル当たり)

死亡事故：5

| | 2017 | 2018 | 増減率 |
|-----------|------|------|-----|
| 北米 | 2.77 | 2.8 | 1% |
| ヨーロッパ | 4.94 | 5.02 | 2% |
| アジアパシフィック | 2.26 | 2.06 | -9% |
| グレーターチャイナ | 1.91 | 1.8 | -6% |
| ラテンアメリカ | 2.82 | 2.88 | 2% |
| 中東・アフリカ | 2.71 | 2.49 | -8% |
| エコラボ全体 | 3.09 | 3.08 | 0% |

- エコラボは会社全体で事故ゼロ、負傷ゼロの目標を掲げています。
- 2017 年のデータは企業の買収や売却を鑑みて修正されています。
- 米国以外のすべての国のデータは 1 カ月遅れで報告されています。2017 年 12 月 1 日～2018 年 11 月 30 日。
- この情報を性別で分けることはできません。また独立請負業者に関するデータは含まれていません。
- グローバルな事業運営はすべて OSHA の負傷報告基準に準拠しています。

重大車両事故率 (SVAR)

(走行距離 100 万マイル当たりの重大車両事故発生件数)

当社の重大自動車事故は以下の項目により定義されます。

- 死亡事故
- 薬物、アルコールに関係する事故
- 傷害事項
- 車両横転事故
- 土壌または水路への環境的流出事案

| | 2017 | 2018 | 増減率 |
|------|------|------|-----|
| 世界全体 | 0.12 | 0.12 | 0% |

信頼されるパートナーを目指して

エコラボのリーダーシップ、イノベーション、企業の社会的責任、サステナビリティに関する取り組みは、数多くの機会でも認められています。以下に、エコラボが受賞したものの一部をご紹介します。

事業



化学業界部門第2位

Fortune 誌の2019年「World's Most Admired Companies (世界で最も称賛される企業)」に選ばれ、化学業界部門で2位となりました。



13年連続

Ethisphere Institute による「World's Most Ethical Companies (世界で最も倫理的な企業)」に13年連続で選ばれました。



第30位

Selling Power 誌の「50 Best Companies to Sell For (営業職が働きたい企業50社)」に選ばれました。これは、報酬・福利厚生、雇用、セールストレーニング、販売支援、顧客維持に基づくランキングです。



第93位

フォーブス誌 (Forbes) の2018年「World's Most Innovative Companies (世界で最も革新的な企業)」で93位に入りました。2011年の同ランキング開始以降、エコラボにとって5回目のランクインとなります。

サステナビリティ



持続可能な開発で2018年金賞

世界の持続可能な水の管理と保全、サステナビリティに関する取り組みとパートナーシップ、技術革新プロセスと製品開発へのサステナビリティの組み込みを支援するエコラボの多くのイニシアティブが、World Environment Center から表彰されました。



2018年北米インデックス

2018年「Dow Jones Sustainability North America Index (ダウ・ジョーンズ・サステナビリティ北米インデックス)」に4年連続で選定されました。このインデックスは、企業の経済、環境、社会的パフォーマンスの分析に基づいて決定されるものです。



FTSE4Good

5年連続

2019年、環境面、社会面、ガバナンス面で優れた実践を行っている企業の実績を測る「FTSE4Goodインデックス」に5年連続で選ばれました。



第8位

Corporate Responsibility Magazine 誌の「100 Best Corporate Citizens (企業市民ベスト100社)」で8位に選出され、6年連続トップ10入りを果たしました。



第32位

2019年、Corporate Knights 誌の「100 Most Sustainable Corporations in the World (世界でもっとも持続可能な企業100社)」に5年間で3回目のランクインとなりました。



第26位

Barron 誌の「100 Most Sustainable Companies in the U.S. (米国でもっとも持続可能な企業100社)」で2018年の29位から3つ順位を上げ、26位にランクインしました。

職場



2018年FORBES誌が選ぶ女性にとって最良の雇用主

Forbes 誌の「America's Best Employers for Women (米国で女性にとって最良の雇用主)」に選ばれました。このリストは、多様性、育児休業、賃金の平等など、複数の男女平等の要素に基づいて主要な雇用主をランク付けするものです。



企業平等指標で100点満点

米国の人権団体 Human Rights Campaign Foundation による、LGBTの職場での平等に関する企業の方針と実践について米国企業を対象に調査した報告書「2019 Corporate Equality Index (2019年企業平等指標)」において、エコラボは最高得点である100%の評価を獲得しました。



ビジネスサービス & サプライ部門で18位

Forbes 誌の「Best Employers for Diversity (多様性に優れた雇用主)」に2年連続で選ばれました。このリストは、性別、民族、性的指向、年齢、障害における多様性に基づいて雇用主をランク付けするものです。



ビジネスサービス & サプライ部門で7位

Forbes 誌の2018年「World's Best Employers (世界で最も優れた雇用主)」および「America's Best Employers (アメリカで最も優れた雇用主)」に選ばれ、ビジネスサービス & サプライ業界部門で7位にランクインしました。

概要

本要約版は、エコラボの2018年度コーポレートサステナビリティレポートの中から、当社が世界に対して最もインパクトを及ぼしていると考えられる部分（お客さま、当社の事業、地域社会）に焦点をあて、その取り組みをご紹介します。

エコラボ2018年度コーポレートサステナビリティレポート（報告期間2018年1月1日～12月31日）の全編は、

www.ecolab.com/sustainability

からご覧いただけます。本レポートは、グローバルレポートインシアティブ（GRI）標準のガイドラインに準拠しています。

当社は、透明性および情報開示に一貫して取り組み、Dow Jones Sustainability Index、

RobecoSAM Sustainability Assessment、CDP's Carbon, Water and Supply Chain 調査に対応しています。さらに、国連グローバルコンパクトおよびCEO Water Mandate に加盟し、これらへの取り組みの一環として、Communication on Progress（COP）の年次活動報告を提出しています。

本要約版に掲載されているカスタマーインパクトに関する事例は包括的なケーススタディによって裏付けられています。

重要性

エコラボは、サステナビリティを事業戦略の中核に据え、世界中の企業がすぐれた成果を達成し、より持続可能な方法で事業が行えるよう支援するソリューションを提供しています。当社の取り組みは重要であり、それをどのように実践するかは当社の従業員やお客さま、投資家、地域社会にとって重要です。

2018年度コーポレートサステナビリティレポートのパラメータは、ステークホルダーにとって最も関心があり、事業戦略と関連性が高く、世界をより清潔に、より安全に、より健康的にするという当社の使命に従い、戦略的な評価に基づいて決定したものです。重要性に対するこのアプローチは、当社の事業と当社がお客さまに提供する独自のソリューションを通じて、世界の最も差し迫った複雑な課題の一部に対処するための、当社のコーポレートサステナビリティ戦略に整合しています。

サステナビリティと重要性を評価する当社のアプローチの詳細については、2018年GRIインデックスの11～16ページをご覧ください。

出典

¹ 二酸化炭素排出量は、米国環境保護庁のローカル係数である1.5 lb CO₂e/kwhに基づいて計算しました。
<https://www.epa.gov/energy/greenhouse-gas-equivalencies-calculator>

² ADM 2016 Sustainability Report. https://assets.adm.com/Sustainability/ADM_Sustainability_CorporateSustainabilityReport_2016.pdf（レポート29ページ、PDF版31ページ）、2008年を基準値とします。

³ ADM 2017 Sustainability Report: <https://assets.adm.com/Sustainability/2017-CSR-Final-5-14-18.pdf>. 目標は2010年を基準値とします。

⁴ World Health Organization: Legionella and the prevention of legionellosis, 2007, Web.

⁵ Claims and Litigation Management Journal. Susan E. Smith and Thomas P. Bernier, 2013. Web.

⁶ 年間節約量は、ヒルトンの2018年の売上データに基づき、ヒルトンが採用する検証・検証済みの技術（エコラボの持続可能性手法、データ収集、計算ツールなど）を使用して算出しています。これらの技術は、第三者機関としてコンサルタントグループAnthesisによる検証済みです。

⁷ 「世界の人口は、2050年に98億人、2100年に112億人に達すると予測されています。」国連経済社会局
<https://www.un.org/development/desa/en/news/population/world-population-prospects-2017.html>

⁸ <https://water.org/our-impact/water-crisis/>

⁹ https://www.mckinsey.com/~media/mckinsey/dotcom/client_service/sustainability/pdfs/charting%20our%20water%20future/charting_our_water_future_full_report_.ashx

¹⁰ “Managing Water under Uncertainty and Risk” - UNESCO; <https://unesdoc.unesco.org/ark:/48223/pf0000215492>

¹¹ <http://www.unesco.org/new/en/natural-sciences/environment/water/wwap/wwdr/2017-wastewater-the-untapped-resource/>

¹² Nahal, Sarbjit, and Valery Lucas Leclin. “A Blue Revolution-Global Water.” ESG & Sustainability. Bank of America Merrill Lynch (2012); 40. A Blue Revolution-Global Water. Bank of America Merrill Lynch, 07 Nov. 2012. Web. 26 Apr. 2017. <http://www.merrilledge.com/Publish/Content/application/pdf/GWMOL/ABlueRevolution-globalwater.pdf>.



表紙の写真

左側の写真: Jamie Derosier (エコラボシニアグローバルコーポレートアカウントマネジャー / 写真右)、Malaquias Jimenez 氏 (Colgate-Palmolive グローバルホームケアテクニカルディレクター / 写真左)

中央の写真: Cecilia Coates 氏 (Colgate-Palmolive ウォータースチュワードシップ担当 / 写真左)、Jamie Derosier (エコラボ / 写真右)

2018 年度コーポレートサステナビリティレポートおよび GRI インデックス全文は www.ecolab.com/sustainability でご覧いただけます。

このレポートは、WBENC 認証企業により印刷されています。印刷には、FSC® 認証紙とアグリ素材のインクが使用されています。



Global Headquarters
1 Ecolab Place, St. Paul, MN 55102
www.ecolab.com 1 800 2 ECOLAB
©2019 Ecolab USA Inc. All rights reserved.54245/0800/0519

ECOLAB®
Everywhere It Matters.™